

日和西雨時報

三十五年前の今日だ！

吉田海相 海軍記念日に談話發表

(東京廿七日同盟) 吉田海相は第三十六回海軍記念日に際し廿六日談話を發表した

要點左の如し
帝國を統治する國際情勢交換
途上、この世界的危
機を重ね、三十五年前、日本海を戰
前、日本海を戰
の大勝が示唆され、然も何時
歐洲戰争の战火が太平洋に波及
しないとも限らない
情勢に在るのである、かくて一大聖戰の進行

國一致、堅忍持
久、須く嚴肅な
決意を堅持し

て是々戰時態勢を確立強化し、以て聖戰終局の目的を達成し、舉旗を慶祝し

五郎二の一、軍事一賀

五郎三の二、度

五郎四の二、賀

五郎五の二、賀

五郎六の二、賀

五郎七の二、賀

五郎八の二、賀

五郎九の二、賀

五郎十の二、賀

五郎十一の二、賀

五郎十二の二、賀

五郎十三の二、賀

五郎十四の二、賀

五郎十五の二、賀

五郎十六の二、賀

五郎十七の二、賀

五郎十八の二、賀

五郎十九の二、賀

五郎二十の二、賀

五郎二十一の二、賀

五郎二十二の二、賀

五郎二十三の二、賀

五郎二十四の二、賀

五郎二十五の二、賀

五郎二十六の二、賀

五郎二十七の二、賀

五郎二十八の二、賀

五郎二十九の二、賀

五郎三十の二、賀

五郎三十一の二、賀

五郎三十二の二、賀

五郎三十三の二、賀

五郎三十四の二、賀

五郎三十五の二、賀

五郎三十六の二、賀

五郎三十七の二、賀

五郎三十八の二、賀

五郎三十九の二、賀

五郎四十の二、賀

五郎四十一の二、賀

五郎四十二の二、賀

五郎四十三の二、賀

五郎四十四の二、賀

五郎四十五の二、賀

五郎四十六の二、賀

五郎四十七の二、賀

五郎四十八の二、賀

五郎四十九の二、賀

五郎五十の二、賀

五郎五十一の二、賀

五郎五十二の二、賀

五郎五十三の二、賀

五郎五十四の二、賀

五郎五十五の二、賀

五郎五十六の二、賀

五郎五十七の二、賀

五郎五十八の二、賀

五郎五十九の二、賀

五郎六十の二、賀

五郎六十一の二、賀

五郎六十二の二、賀

五郎六十三の二、賀

五郎六十四の二、賀

五郎六十五の二、賀

五郎六十六の二、賀

五郎六十七の二、賀

五郎六十八の二、賀

五郎六十九の二、賀

五郎七十の二、賀

五郎七十一の二、賀

五郎七十二の二、賀

五郎七十三の二、賀

五郎七十四の二、賀

五郎七十五の二、賀

五郎七十六の二、賀

五郎七十七の二、賀

五郎七十八の二、賀

五郎七十九の二、賀

五郎八十の二、賀

五郎八十一の二、賀

五郎八十二の二、賀

五郎八十三の二、賀

五郎八十四の二、賀

五郎八十五の二、賀

五郎八十六の二、賀

五郎八十七の二、賀

五郎八十八の二、賀

五郎八十九の二、賀

五郎九十の二、賀

五郎九十一の二、賀

五郎九十二の二、賀

五郎九十三の二、賀

五郎九十四の二、賀

五郎九十五の二、賀

五郎九十六の二、賀

五郎九十七の二、賀

五郎九十八の二、賀

五郎九十九の二、賀

五郎一百の二、賀

五郎一百一の二、賀

五郎一百二の二、賀

五郎一百三の二、賀

五郎一百四の二、賀

五郎一百五の二、賀

五郎一百六の二、賀

五郎一百七の二、賀

五郎一百八の二、賀

五郎一百九の二、賀

五郎一百十の二、賀

五郎一百十一の二、賀

五郎一百十二の二、賀

五郎一百十三の二、賀

五郎一百十四の二、賀

五郎一百十五の二、賀

五郎一百十六の二、賀

五郎一百十七の二、賀

五郎一百十八の二、賀

五郎一百十九の二、賀

五郎一百二十の二、賀

五郎一百二十一の二、賀

五郎一百二十二の二、賀

五郎一百二十三の二、賀

五郎一百二十四の二、賀

五郎一百二十五の二、賀

五郎一百二十六の二、賀

五郎一百二十七の二、賀

五郎一百二十八の二、賀

五郎一百二十九の二、賀

五郎一百三十の二、賀

五郎一百三十一の二、賀

五郎一百三十二の二、賀

五郎一百三十三の二、賀

五郎一百三十四の二、賀

五郎一百三十五の二、賀

五郎一百三十六の二、賀

五郎一百三十七の二、賀

五郎一百三十八の二、賀

五郎一百三十九の二、賀

五郎一百四十の二、賀

五郎一百四十一の二、賀

五郎一百四十二の二、賀

五郎一百四十三の二、賀

五郎一百四十四の二、賀

五郎一百四十五の二、賀

五郎一百四十六の二、賀

五郎一百四十七の二、賀

五郎一百四十八の二、賀

五郎一百四十九の二、賀

五郎一百五十の二、賀

五郎一百五十一の二、賀

五郎一百五十二の二、賀

五郎一百五十三の二、賀

五郎一百五十四の二、賀

五郎一百五十五の二、賀

五郎一百五十六の二、賀

五郎一百五十七の二、賀

五郎一百五十八の二、賀

五郎一百五十九の二、賀

五郎一百六十の二、賀

五郎一百五十一の二、賀

五郎一百五十二の二、賀

五郎一百五十三の二、賀

五郎一百五十四の二、賀

<p

教育日本を讃ふ

お馴染みのソーザ教授の講演

天高くお腹も肥える秋

近郊 日伯文化協会バツセイ才

此の頃は好景の

小春日和が續く

ので、郊外への

ハイキングやナショナルヤード

イグは不思議といふ氣氛に

眼や耳を惹き、相当の數に

上るが、御多分に渡れば日伯

文化協会の一行約三十台

昨日の総合部会は

（ビニエロス電車統轄）か

（ビニエロス電車研究所）か

（ビニエロス）の眷親研究會へ

打連れて連足した、九時半頃地

に着くと理屈の面白い講師

を見たり、十一羽の鶴に就

少尉は伊藤が多いといふ

事は伊藤が多いといふ

引張たこの大和子

淑かで働きもの伯人家庭の定評

昔に比べ待遇もよろしい

人連れたところ、コ々

やれば虎の子も出来ようとい

ふもの

に見られる不景氣の魔は宿

成船した様にメルカート附近

断然多いバタ、成金

に見られる不景氣の魔は宿

成船した様にメルカート附近

歸國者の職業色分け

に見られる不景氣の魔は宿

成船した様にメルカート附近

断然多いバタ、成金

に見られる不景氣の魔は宿

成船した様にメルカート附近

